

2歲兒



【2歳児】

<p>子どもの姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が発達する。また、排泄の自立のための身体機能が整う。 ・食事や、衣類の着脱など身の回りのことを自分でしようとする。 ・語彙が増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出する。 ・身近な物や事柄に関心をもち、行動範囲が広がり探索活動が盛んになる。 ・自我が育ち、自己主張をする。また、友達とのぶつかり合いが起こる。 ・大人が仲立ちしながら、気の合う友達と簡単なごっこ遊びなどを楽しむようになる。
<p>情緒の安定 生命の保持</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの行動範囲を十分に把握し、安全な環境構成を心掛ける。 ○子どもの心の動きや成長を捉え、子どもの自信や意欲を受け止める。 ○自分の感情を思いきり表出したり、ときには抑えたりして、気持ちを立て直す力が育まれるようにする。
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎保育者に親しみ、安定した気持ちで好きな遊びを十分に楽しむ。 ◎保育者や友達と関わって遊ぶ楽しさを味わい、少人数でのごっこ遊びや簡単な集団遊びを楽しむ。 ◎保育者に見守られ、手伝ってもらいながら身の回りの始末の仕方を知り、自分でしようとする。 ◎体をのびのびと動かして遊ぶ楽しさを感じる。 ◎感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとする。
<p>内容 健康 人間関係 環境 言葉 表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気の中で、スプーンやフォークを使って自分で食べる。 ・尿意、便意を言葉で知らせ、トイレに行き排泄しようとする。 ・保育者に見守られて、手洗い、うがい等をする。また、手伝ってもらいながら、自分で衣服を着脱する。 ・生活や遊びを通して、気の合う友達と関わることを楽しむ。 ・友達と遊ぶ中で、保育者が仲立ちとなり、簡単な約束や順番を知る。 ・雨や風、雷などの自然の事象や天候を体感し、興味をもつ。 ・身近な生き物や草花や栽培している野菜などを見たり触れたりして興味や関心をもつ。 ・水、砂、泥など感触を楽しみながらのびのびと遊ぶ。 ・保育者や友達と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ・保育者と一緒に絵本の登場人物になり、言葉の模倣をしたり、自分なりに表現したりして遊ぶ。 ・ちぎったり、切ったり、貼ったり、折ったり、描いたりして遊ぶ。
<p>環境 構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で食べようとする気持ちを受け止め、正しいスプーン、フォークの持ち方をさり気なく伝える。 ・排泄や衣服の着脱や手洗いなど、自分でできた満足感を味わえるように手伝う。 ・一人一人の発育に応じて、体を動かす機会を十分に確保したり、適切な援助をしたりして、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにする。 ・ロッカーや靴箱などに同じマークを貼り、自分の持ち物の場所が分かるようにしたり、遊具や用具の分類や整理がしやすいよう写真を付けたりし、片付けやすい環境を作る。 ・一人一人の興味や関心に合わせて、遊具の数を十分用意したり、安全な環境を用意したりする。 ・戸外遊びの機会を多くし、安全に留意しながら、自然に触れたり、体を動かしたりできるようにする。 ・子どもの言葉や表情から思いを受け止めたり、共感したりしながら、身近な自然に興味をもてるような環境を作る。 ・少人数でゆっくりと製作が楽しめるよう、場所や時間などゆとりをもって計画する。
<p>の連携 家庭・地域と</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態や生活の様子を連絡ノートなどで具体的に伝え合う。 ・「自分で」「いや」と自己主張する時期でもあるが、まだ甘えたい気持ちがあることを理解して、温かく受け止められるよう家庭と園と連携を取り合う。 ・散歩などで地域に出かけたときに、挨拶しながら、地域への関心をもてるようにしていく。

伊丹市が大切にしたいこと

愛情

尊い命と異なる個性とのふれ愛

保育者の援助



- ♥「自分で」という気持ちを温かく受け止め、できるまで待ったり、さり気なく手伝ったりしながら、できた喜びに共感する。(自我の芽生えを愛情豊かに受け止める)
- ♥「イヤイヤ」「だめ」「あっち行って」など反抗的な言葉や態度が多く出る時期であるが、その言葉が出た状況を理解し、受け止めながら、子どもからの思いや要求などを引き出すようにする。
- ♥アイコンタクト、名前を呼ぶ、声を掛けるなど、常に保育者を身近に感じられるような関わりを意識する。(安心感・信頼関係)

自然

身近で豊かな自然とのふれ愛

自然とのふれあい



- ★身近な物や事柄に関心を持ち、意識してみたり聞いたりする時期。
 - ・♪ちゅうりっぷ、♪かえるのうた、♪ちょうちょうなど簡単な歌と実際の生き物に結び付け、言葉や表現、また、生き物や植物への関心を深める。
 - ・「花」にもいろいろあり、色や形、咲く時期などに気付けるよう、計画的に栽培する。
 - ・ダンゴムシ、バッタなど、園庭で見つけた生き物に繰り返し触れる機会を作る。また、写真などで室内に飾り、興味関心が広げられるようにする。
- ★自由に歩けるようになり、ある程度の距離も歩くようになる。
 - ・園付近の公園まで出かけ、園内とは違う環境に触れ、様々な気付きが生まれるような機会を設ける。

2歳児

ことば

豊かで美しいことばや表現とのふれ愛

言葉や表現とのふれあい



- ◆語彙が増える時期
 - ・日常生活の言葉を楽しく使えるように、引き出す働き掛けをする。
 - ・名称の他に、楽しい・うれしい・きれいなど思いや感情を表す言葉や、目に見えない事象の言葉を意図的に場面に応じて取り入れる。←保育者からの表現豊かな言葉掛け。
 - ・ゆっくり、丁寧に、はっきりと語り掛ける。

【絵本】

- ・「おおきなかぶ」ロシア民話 作：A・トルストイ
- ・「ねないこだれだ」 作：せなけいこ
- ・「かおかおどんなかお」 作：柳原良平
- ・「てぶくろ」ウクライナ民話
作：エウゲーニ・M・ラチョフ
- ・「うずらちゃんのかくれんぼ」 作：きもとももこ
- ・「そら はだかんぼ」 作：五味太郎

【歌】

- ♪トントントンひげじいさん
- ♪1と1で
- ♪いっぴきののねずみが
- ♪くいしんぼのゴリラ
- ♪かえるのうた
- ♪ながぐつマーチ
- ♪キャベツの中から
- ♪はじまるよ
- ♪ちゅうりっぷ
- ♪ちょうちょう
- ♪どんぐりころころ



おすすめ！ 植物遊び③ ～2歳児～



木の枝を子どもの手に合うサイズに切り、置いておきます。
春から秋頃までの木の枝は、ほとんどの種類において皮を
むくことができます。
種類によって、むける感じや香り、感触がいろいろあることに気が
付くでしょう。

また、枝を使った製作遊びも楽しいです。